

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-55

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名：横浜市立東小学校
活動名： 校内支援体制の充実 国際・通級・児童支援専任の連携	
解決すべき課題：外国につながる児童を中心に複合的に課題を抱える児童への指導体制の確立	
<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童約 300 人中 103 人の外国につながる児童 ・55 人の特別支援教育総合センターを中心とした外部機関に発達の課題でつながる児童 ・年間のべ約 20 件の児童相談所一時保護措置対応の家庭の課題 (表 1) <p>全校児童の 3 分の 1 に当たる外国につながる児童を中心に、当たり前でできると思われていることに難しさを抱える児童が在籍している。彼らが学校生活や学習に対し安心して学校生活を送れるために職員の支援システムとチーム力を高めることが不可欠である。</p>	
<p>目標・方針：外国につながる児童を中心にすべての子どもたちが学校生活を安心して過ごせるための連携</p> <p>国際教室職員・通級教室職員・児童支援専任・特別支援教育コーディネーターがそれぞれの指導体制を充実させると同時に互いの間の情報交換と連携を大切に協働して児童の指導に当たりそのよさを教師も実感できるようにする。</p>	
<p>活動内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外国からの転入児童には国際教室の職員が取り出し指導と、入り込み指導を行う ② 外国につながる児童のランチ会や多文化交流集会などで職員と児童間の交流を深める ③ 外国につながる児童のトラブルには、児童支援専任が間に入り、職員でチームとして対応していく ④ 特別支援教室を児童支援専任が中心に運営し、すべての児童の学習や集団生活の困り感に対応する ⑤ 言語の問題を中心に通級支援教室と連携し、その子の問題の発見・指導にあたる ⑥ 虐待等の情報を児童支援専任に集約し、そこから関係職員と協議・対応に当たる 	
<p>活動の成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力に課題はあるが、学力に対する学習意識・生活意識の高さ ・外国につながる児童の学校代表としての活躍 (各委員長など) ・多文化交流集会など外国につながる児童の活躍 ・いじめや仲間はずれが少なく協力し合う風土 ・一人の子どもに多くの職員が関わり話し合いができる風土 	
<p>アピールポイント (アイデアや工夫)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母語の通訳を含む外国につながる児童への指導体制・教材の充実 (表 2) ・外国につながる児童が自分たちの国の様子を多文化交流集会で全校に発表 (写真 3・4) ・児童の困り感をレッテル分けするのではなく、その子自身を見る学校体制 ・自分と異なる文化や価値観の子どもたちへの寛容な子どもたち (国を理由にしたいじめゼロ件) 	

児童支援専任

- 固定の授業を持たずに、児童支援を専従で行う
- 児相・役所・警察など外部機関との連携窓口
- 保護者・地域の方の相談窓口
- 特別支援教室 (学級とは異なる) の運営・指導
- ケース会議等の開催や職員の相談窓口

国際教室

- 外国からの転入児童に対し日本語の初期指導
- 少人数での取り出し指導
- 教室中での入り込み指導
- 教科書や重要な配布物を外国語訳
- 安心して行事や学校生活を送れるための事前準備

通級教室職員

- 聞こえと言葉に関する通級指導
- 自校の強みを生かした細かい指導
- 保護者との定期的な面談
- 運動会等の行事で子どもが活躍できるための直接支援
- 多層指導モデルMIMを活用して低学年への読む力のアセスメント

全校児童 (約300名) に対して特に配慮を要する児童 (表 1)

年度	外国籍・外国につながる児童	発達による相談を外部に利用した児童	児童相談所一時保護児童
29年度	~90	~50	~15
30年度	~100	~60	~20
31年度 (半期)	~105	~65	~25

外国につながる児童が自分たちの国の文化を多文化交流集会で全校に発表 (写真3)

外国語で示した教材や教科書 (表 2)

教科書	鉛筆	教科書	鉛筆
教科書	鉛筆	教科書	鉛筆
教科書	鉛筆	教科書	鉛筆

教科書を中心に色んな教材を外国語訳 これらを活用して子どもへ指導します

国際ランチ会には国際教室で指導を受ける児童・国際教室職員・児童支援専任・学校長などが参加し、クイズなどを通じて交流を深める (写真4)

国際職員と一緒に自己紹介の絵を作り、校内に掲示したり、イベントに出展する